

## 平成30年度 第2回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成30年11月28日(水) 午後2時00分～3時30分
会場	北町公民館 2階 集会室
出席者 (順不同)	大鷲輝国会長(議長)、園川泰子副会長、松原由紀恵委員、笹恵子委員、小西政勝委員、中村和弘委員、宮寄直子委員、村川奈津子委員、高野真由美委員、土肥仁美委員、長谷川昭委員、小澤俊子委員 12名 加納克彦(中央)・岡部次男(東)・星野尚子(西)・坂本旻(南)・鈴木啓文(北)・大山麻美子(下蕨)・井田誠(旭町)各館長、松永祐希課長・藤橋篤係長(生涯学習スポーツ課)、瀬口正浩係長(中央、書記) <合計>22名
欠席者	山田由紀子委員、中捨文子委員、朝倉伸行委員
主な添付資料	資料1、平成30年度 第1回 公民館運営審議会 会議録(案) 資料2、平成30年度 地区生涯学習フェスティバル 報告 資料3、第71回 文部科学大臣 優良公民館表彰(平成30年度) 資料4、第35回 蕨市けやき文化賞(平成30年度)表彰
<p>&lt;公民館運営審議会&gt; 午後2時00分 開会</p> <p>1、開会 ※傍聴希望1名。規定により許可。</p> <p>2、あいさつ 大鷲会長 開会あいさつ</p> <p>3、議 事</p> <p>①前回会議録の承認 資料1『平成30年度 第1回 公民館運営審議会 会議録』(案)をもとに事務局から説明、承認された。 委員：「6、議事」の「(4)その他」で「北町の出入り口での履物の着脱時の手すり設置と中央の部屋の壁紙の剥離」の記述があるが、会議当日は、どういったやりとりだったか。 事務局：要望の類として発言されたもの(北町はベンチを設けて腰かけて着脱ができるようになっている、中央は今後も予算要望していく)。</p> <p>②報告事項 (1)平成30年度 地区生涯学習フェスティバル 実施報告について 資料2「地区生涯学習フェスティバル」に基づき各館長から、地区(館)ご</p>	

との実施報告を、主な取り組みなどを中心に説明

(模擬店出店と営利性について)

委員：模擬店出店数の減少傾向を来年検討したいとの発言が、実行委員からあった。商店会に協力してもらってはどうかという意見もあったが、営利目的の出店の兼ね合いを考慮し、来年度以降検討ということになった。南は商和会（地元商店会）も参画しているが、営利性との兼ね合いは？

事務局：同会からもフェスティバル実行委員会委員を選出してもらい、主催者の1人の位置づけで、協働・連携し、地域全体の催しとして行っている。同会で行っていた「商和会まつり」とフェスティバルは、もともとは別々の実施だったが、『より地区全体の催しとして広げ、さらなる賑わいや盛り上がり』を通して「生涯学習の広がり」との意図で、従来の「公民館まつり」を「地区生涯学習フェスティバル」と位置づけを改めた20数年前から、合同で実施してきている。営利追求ではなく、催しを盛り上げる手立ての一つとして、様々な形態や手法があり得る。

委員：生涯学習の「地区」のフェスティバルなので、公民館に携わっている方だけでなく、地区の方にも加わってもらって、地区のつながりになる催しになっていくとよい。

委員：旭町は町会も公民館利用団体の組織に入っていて、運営に携わっている。商店会も協力している。

(音楽・コンサートについての運営方法)

委員：コンサートがいくつかの地区で見受けられるが、小さな子ども連れなどの聴く側の姿勢や運営側の方針、催しの様子などはどのようなだったか。中央では子ども連れでも可としたようだが？

事務局：今回の中央では「身近で本格的な演奏に触れる機会の提供とともに、子ども連れで、小さな子が少しくらいぐずっても可」といった趣旨で企画し、演奏者にもその旨を了承してご出演いただいた。そのように、だれもが身近で気軽に聴くことができる催しの機会も大事である一方、子どもたちに『静かに聴く姿勢や習慣』などを経験してもらおう音楽会も大事。催しの狙いや目的によって様々である。

委員：演奏家の立場としては、有料の催しなどでは未就学児の入場がNGというものもあるが、一方では、体調や子ども連れなどの様々な理由で、そうした催しへは、なかなか参加できないような人でも、気軽に出かけて、音楽に触れることができる機会は大事であると思う。

(その他、催し全体または個別の催しについて)

委 員：地区によって開催日数が2日間のところ、3日間のところがあるが、どのように決めているのか。

事務局：どの地区も日数の取り決めはなく、施設の都合や、実行委員会での協議によって決めている。

委 員：フェスティバルに来場する子どもは、小学生までが主で、中学生となると、部活動や受験などもあり、なかなか難しい。そうしたなか、南の一中生徒ボランティアや、塚越での東中・武南高の吹奏楽出演などは、若い人の地域や公民館とのつながりを感じさせる取り組みである。

委 員：クラブやサークルが、催しのなかで行う「公開講座」はよい取り組み。実際に新規の会員獲得につながった例もある。各団体がそうした機会を積極的に活用するとよい。

委 員：旭町の「前夜祭」はどのようなことを行っているのか。実行委員として携わっており、催し内の自分の担当業務で手一杯で、なかなか他の催しを見ることができない。

事務局：前夜祭は各団体などのPRの場となっている。団体や地区内、または他地区との「横のつながり」や団体の活動や発表、PRなどを通じて互いを知ることができる。また、会場全員で踊る「わらび音頭」は、一体感を感じることができる取り組みの例である。

委 員：旭町地区は駅前にあるため、商店会（街）も他に比べて多く、賑わいがある印象。他地区は、そうした地元商店会の参画が難しい面があるが、様々な団体・組織の協力を得て行うことが必要だと思う。

委 員：短時間ずつではあったが、全地区の様子を拝見し、展示団体の会員から、自らの作品への熱い思いを伺い、改めて、すごいなと感じた。それぞれの地域性をカラーとして、または課題として、全地区が同じにするのではなく、特性を出していければよいと思う。

委 員：どこも、盛り上げには苦労はしていると思う。また、事業内容は見直しを図っていると思う。参考になると思ったのは、南公民館の作品展示で、小学校・中学校・保育園・幼稚園など、色々な機関・組織と連携をとっており、とてもよい。

委 員：地域性という意味では、他地区に比べて、旭町地区は高い面があ

る。旧旭町公民館のときからのつながり、流れができています。

委員：南では一中生が「喫茶コーナー」の手伝いをここ数年しているが、他の学校はどのようなか？世代間の連携は良い取り組み。自分が活動しているパソコンの団体の催しにもたまに一中生が手伝いにくる。下蔵の「中国の人たちの発表」についてもう少し詳しく内容を訊きたい、普段から活動している団体なのか？

事務局：中学校（中学生）は、吹奏楽や音楽部の舞台発表などへの出演を始め、展示作品での参加なども見られている。下蔵の「中国の人たちの発表」は、ふだんは館で活動している団体で、論語の学習をしている。

委員：中学生との連携だが、毎年行っている塚越の「つかっザニア」は、今回は台風で中止となったが、実施する際には東中学校にボランティアの協力依頼をしている。

- (2) 第71回 文部科学大臣 優良公民館表彰（平成30年度）について  
資料3「第71回 文部科学大臣 優良公民館表彰（平成30年度）」に基づき、北町公民館長から説明があった。

\* 今回の北町の受賞で、平成13年度の東を皮切りに市内全7公民館が受賞を果たした。

- (3) 第35回 蔵市けやき文化賞（平成30年度）表彰について  
資料4「第35回 蔵市けやき文化賞（平成30年度）表彰」に基づき、下蔵公民館長から説明があった。

- (4) その他

委員：これまで、1年おきに行ってきた「生涯学習推進事業」は、来年度が実施の時期となるが、今後、どのように取り組んでいくのか。

事務局：これまでの3回は、この委員のみなさんを中心に実行委員会を構成して事業にあたっていただいていたが「ご負担が大きい」などのご意見もいただいていたころから、実行委員会形式ではない方法で、もともとの「生涯学習や公民館活動の周知・啓発」の機会とできなかなどといったことを考えている。折に触れ、委員の皆さんのご意見やお考えなども、お聞かせいただければと思う。

委員：ぜひ、内容やテーマは、固いものだけでなく、若い世代や新たな人

材を公民館へ呼び込むといった他の視点からも考えてほしい。

・

委員：たびたび発言がある「公民館のネット予約」はその後、進まないか？

事務局：近隣市がすでにほぼ導入済みであり、時代の流れのなか、そうそういつまでも、現状のままでよいとは、さすがに考えてはいない。一方で「今のままがよい、ネット予約などには対応できない」という利用者の声もあり、今後、総合的に見定めていきたい。

委員：ぜひ、費用・コスト面などを含め、具体的な検討を進め、他市の状況や資料・情報などの提示もしてほしい。

午後 3 時 3 0 分 園川副会長 閉会あいさつ、閉会